

東京教区時報

2004年9月12日発行
 日本聖公会東京教区
 港区芝公園3 6 18
 編集人 英 久子

2004年東京教区フェスティバルが9月20日(月・休)に開催される。教区合同礼拝を含めて、エルサレム教区から迎えるリア主教らパレスチナ・キリスト者八人の訪日団を中心にした終日プログラム。フェスティバルの前後1週間にわたる交流と協働では 平和の実現への思いが語られ強く育まれようとしている。この《フェスティバル&来日団歓迎特別号》はそのご案内の一助に…。

教区フェスティバルに

エルサレム教区主教を迎えて

主教 植田 仁 太郎

来る9月20日に行われる東京教区フェスティバルに、中東聖公会エルサレム教区主教リア主教様をはじめとする聖職信徒八人の方々をお迎えます。イエスキリストが誕生さ

る9月20日に行われる東京教区フェスティバルに、中東聖公会エルサレム教区主教リア主教様をはじめとする聖職信徒八人の方々をお迎えます。イエスキリストが誕生さ

ちは、エルサレム教区の方々を、そのような歴史的に由緒深い血統の人々としてお迎えするわけではありません。

とつて、エル・サラームシャローム、平和の都の象徴です。ところが現実には、紛争の象徴ようになってしまいました。実は、紛争の原因は、宗教や信仰の違いではありません。あの地のクリスチャン達は、外からの介入が無ければ、二千年間、イスラム教の人ともユダヤ教の人とも平和に共存



してきた人々です。それにもかかわらず、現在では、それぞれに苦悩を抱えています。

この機会を、兄弟姉妹た

工教区のみなさま ようこそ東京教区へ

司祭 大畑 喜道

エルサレム教区リア主教様をはじめ、多くの兄弟姉妹をお招きし、共に交わりをもつことができずことを感謝いたしました。皆さま、ようこそ来日してくださいました。私たちは普段どこへ出かけるのにも自由で、海外旅行でもヒザが下りないということもあまり経験

ちのその苦悩を分かち合っている。「平和の都」のウィジョンを分かち合う時とできれば、うれしいことです。

(東京教区主教)

をしたことがあります。しかし今回の訪日団の皆さまの中には、パレスチナの住民であるということもヒザが下りずに、日程の詳細が明確にならないという状況が続きました。それがパレスチナに住む人の厳しい現実なのでしょう。一週間という短い滞日期間ではありますが、た

くさんのことを教えていた。だきたいと思えます。昔、マザー・テレサは、愛の反対は無関心だ」とおっしゃいました。正直、日本とパレスチナは遠く、今までは無関心であつたように思えます。私たちは遠く離れている者ではあつても、他者を理解し、他者の尊厳に気づき、共に悲しみや痛みを分かち合う心が無ければならないでしょう。

訪日団をお迎えし、交わりを共にし多くのことを学び、少しでもパレスチナの方々と連帯することができれば幸いです。

(工教区訪日団)

歓迎委員長

エルサレム教区から の訪日団の方々

「リア・アブ・エル・アサール主教」

聖公会エルサレム教区主教(一九九七年按手)。ガリラヤのナザレ生まれ。一九四八年以来ユダヤ人の占領による困難の中、世界の教会、イスラム教関係者と連帯しつつパレスチナ/イスラエル地域における非暴力平和運動に努力して来られた。

「ラニア・アブ・エル・アサール」

ナザレの教区事務所主事。リア主教ご令嬢。

「サムエル・バーホーム司祭」

ナザレ及びレイネーの教会牧師。

「シェハデー・シェハデー司祭」

ハイファの教会牧師。

「シャフィカ・ダワニ」

西岸地区ラマラの教会信徒(牧師の妻)。聖公会関係学校教師。

「ナテラ・ムサラム」

ガリラヤ地区青年信徒(大学生)。

「ナヒル・イブラヒム」

ガリラヤ地区弁護士。信徒。教会法委員会などで奉仕。

「ジョージ」

「コプティ司祭」

ヨルダン国籍。現在ペイ

ルト(レバノン)の教会牧師。

7日現在、一部未定分を含む。来日時間その他の事情によっては変更あり。

工教区訪日団 滞在日程

18日(土)成田着。出迎え。17時 聖餐式。19時 夕食会(宿泊ホテル) 主教・主教座聖堂関係者・教区歓迎委員・エルサレム教区訪問団。

19日(日)聖アンデレ・八王子聖アグネス松戸聖母

口(横浜教区)の四教会の礼拝に分散参加(説教懇談・交流など)。

《教区フェスティバル》

平和をつくりだす人は幸い…パレスチナの人々と共に…

9月20日(月・休)午前10時

立教大学(池袋)

司式 植田教区主教 説教 リア主教(工教区主教)

夕食会(聖ンテレ)。
20日(月・休)教区フェスティバル参加。

10時 聖餐式・子ども礼拝。

14時 シンポジウム

18時 晩餐会(立教学院・理事長学院長主催) 教区関係者出席。

21日(火)

12時半 リア主教ニテ

主事・サムエル司祭 聖ルカ国際病院理事長日野

超教派・市民団体による

パレスチナ交流集会

司祭 神崎雄二

エルサレム教区からの一行八名をお迎えし、パレスチナの人々と共に歩んできた教会関係諸教派、諸市民団体が共に集まる集会在、9月23日(木・休)10時〜15時、聖ンテレ教会・同ホールで行われる。

これまでパレスチナ問題に関わってきた教会・団体に

原重明氏と面談
15時頃 中部教区へ、他のメンバーは午前中、都内観光。

13時半 神学院授業

22日(水)リア主教帰京

14時 記者会見。(以後、植田主教同行)

15時半 国会議員との懇談。

18時 経済界要人と会談

他のメンバーは自由時間

23日(木・休)

は地道な良き働きを永年継続してきたところがたくさんあるが、高度に政治的な背景が絡み、関係諸団体の横の連携や協働関係が希薄であった。しかし今回キリスト教関係者といつ、ユークリクな分野からの来日であり、しかもリア主教はこれまで絶えず非暴力平和の路線を歩んで来られた方でもあり、関係諸団体から敬意を持って受け止められ、今回の交流集会在が実現した。

集会在ではリア主教の基調講演をはじめ、パレスチナや

10時 パレスチナ関連諸団体との交流集会在(聖ンテレホールにアピールブース)。

13時 リア主教基調講演

フェスティバルの主要日程

教区合同礼拝

「関連記事」4頁に

*10時〜12時半

聖餐式

司式 植田主教

説教 リア主教

会。
18時 夕食会(パレスチナ交流関係者も同席)。
24日(金)今後に向けての話(しんい) 帰国

子どもの礼拝と楽しい時間

担当 立教大学さゆり会

八木正言司祭

昼食

(含弁当の引き換え)

*12時半〜14時

写真展・出店・アトラクション

*12時半〜13時45分

《アハリ・アラブ病院》

ガザ地区(パレスチナ自治区・イスラエル占領下)にある聖公会の病院。イスラエル兵の銃弾に倒れ、乱暴された人々が担ぎこまれ、時として野戦病院と化している。

また、度重なる外出禁止令により、病院にも行けず、医療から見放されている人々を出張クリニックによって無料で治療している。エルサレム

パレスチナ写真展
大道芸
演奏 〃オルガン演奏/カントリーチャーチバンド演奏/クラシック・ミニコンサート

パレスチナ関連出店

シンポジウムおよび閉会の祈り

*14時〜16時

シンポジウム

「パレスチナ・キリスト者の生き方と希望」 立教学院との共催

共通の聖歌と祈り

△教区は、貧しく弱くされた人々に、健康と教育を」と支援してきた長い歴史を持つ。しかし病院経営は財政赤字に直面しており、国際的な支援協力が必要と呼び掛けられている。

「アハリ・アラブ病院を支援する会」(日本基督教団社会委員会)は、十年以上もの間、支援し続けて来られた。

フェスティバル信施奉献先

イスラエル及び周辺諸国でのパレスチナ難民の生活や、世界各国の連帯活動などが報告される。一方、日本側諸団体の連帯の意図や活動の現状も報告される。

ごなたの参加も歓迎されています。

(「サラムパレスチナ」代表)

主催 〃「サラムパレスチナ」など四団体。

協賛団体 〃約二〇団体。

部分参加可。

資料代 五百円。

昼食代 五百円(要予約)。

フェスティバル当日のご案内

[フェスティバル実行委員会・同事務局]

【合同礼拝＝聖餐式・子ども礼拝】..... 10時00分～ / タッカーホール、チャペル

- * 教区合同礼拝「聖餐式」 受付で式文をお渡します。
- * 「子ども礼拝と楽しい1時間」は、チャペルです(場所は受付でご案内いたします)。エルサレムに深くかかわり子ども向け図書も出版している小林聡司祭(京都教区)がお話…。立教学院「さゆり会」の方たちが楽しい時間をリードしてください。
- * 信施・献金は、「アハリ・アラブ病院の働きのため」お献げいたします。受付でお預かりします(礼拝の中で集めることはありません)。別掲3頁に「奉献先」紹介。
- * 感謝・祝福の後、ゲスト紹介、諸連絡、「エルサレム教区の歴史」についてのお話につき、派遣の唱和、退堂聖歌とあります。退堂の際は、順次、安全に配慮してご退出ください。

【昼食・休憩時】..... 12時30分～ / 会場内各所

- * お弁当は、お弁当引換所(タッカーホール東側)で、事前にお求めいただいている食券と交換してください。第一食堂、9号館1F、2F、などにお席が用意されています。好天の場合、屋外の適当な場所をご利用いただいても結構です。ごみは、それぞれお持ち帰りいただくか、お弁当引換所付近に設置されたごみ箱に類別して入れてください。
- * 飲み物は諸所の自販機を利用していただくほか、第一食堂と9号館1Fでも販売いたします。
- * この時間に「写真展」など、以下の各種イベントが行なわれます。
 - ・「パレスチナ写真展」 [12:30～14:00 / 8号館1F / 協力:パレスチナ子どものキャンペーン]
 - ・「大道芸」 [12:30～13:45 / 会場内各所 / 協力:立教大学「どりーむぼっくす」]
 - ・「カントリー・チャーチ・バンド演奏」 [12:30～13:40 / 第一食堂 / 協力:C.C.バンド有志]
 - ・「ランチタイム・コンサート」 [13:00～13:50 / 9号館2F / 協力:竹下ユキさんほか有志]
 - ・「パイプオルガン演奏」 [13:15～13:45 / チャペル / 協力:立教学院オーガニスト]
 - ・「パレスチナ関連出店」 [12:30～14:00 / 8・9号館付近] 出店団体:「サラーム・パレスチナ」「特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン」「聖公書店」「日本パレスチナ医療協会」

【シンポジウム・共通の聖歌と祈り】..... 14時00分～ / 9号館2F

- * ガリヤの青年が日常の生活の中での困難や希望を、弁護士がパレスチナの置かれた困難と法律的な問題を、それぞれ証しながら発題していただきます。質問と応答でさらに理解が深まることでしょう。
 - ・「ガリヤの一女性青年の生き方」=ナデラムサラムさん
 - ・「パレスチナ人の抱える法的諸問題～イスラエルの支配と差別のなかで...」=ナビル・イブラヒムさん
- * 最後に、その場で「共通の聖歌と祈り」を共にし、神を賛美するクロージングのときを過ごします。ぜひ祈りの輪にご参加ください。閉会時間は16時頃と予定しています。

【その他】

- * 建物は、全館禁煙です。屋外でも、喫煙場所以外での喫煙はご遠慮ください。
- * 会場には駐車スペースがありませんので、お車でおいでの方は、近隣のコインパーキングなどをご利用ください。
- * 介助、救護、その他の必要につきましては、受付または本部席までお問い合わせください。また場内数箇所に会場案内係(バンダナを着けたフェスティバル実行委員またはボーイスカウト)がおりますのでお尋ねください。